

平成28年度授業改善推進プラン

清瀬市立清明小学校第6学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)	成果と課題(年度末)
国語	<p>A話す・聞く・書くに関する内容に弱い。作文をはじめ、「書くこと」に関する苦手意識を感じている児童が多い。作文を書く機会や日記指導を充実させていく。</p> <p>B「目的に応じて自分の考えを明確にしながら読む」ことが著しく苦手である。ユニバーサルデザインの授業を展開していく。「誰もが理解できる授業の工夫：授業の焦点化(シンプルに)する。授業を視覚化(授業を視覚化(ビジュアルに)する。授業で共有化(シェア)する。」を目指す。</p>	<p>・単純に内容を理解するだけの読み方から、深く丁寧な読み方ができるよう、文章を読む前に読み手の視点を与えるなどし、普段から意識させていく。</p> <p>・読み取る際に、イメージや感覚ではなく、本文を根拠にした正確な読み取りを指導していく。</p> <p>・学校行事等、様々な場面で、考えたことや感じたことを書く活動を多く取り入れ、書く力の向上に努める。</p>	
社会	<p>・普段、社会的な事象に興味をもって生活していない。</p> <p>・基本的な知識の定着が低い児童が見られる。</p> <p>・資料から、必要な情報を読み取ることはできるが、読み取ったことから、自分の考えを広げていくことができない児童がいる。</p>	<p>・視覚資料を積極的に使い、具体的なイメージをもって社会事象を認識できるようにする。</p> <p>・複数の資料を関連付けて読み取らせたり、必要な資料を収集したり、選択させたりするなど、資料を読み取る時間を十分確保する。資料から考えたことなどを、グループや学級全体で話し合う時間をもつ。</p>	
算数	<p>A「知識・技能」分野は比較的定着している。「□÷0.8の商の大きさ」の正答率が5割以下である。四則計算をはじめ、基礎的な技能を定着させるため、4年5年用の東京ベーシックドリルを日常的に活用していく。</p> <p>B数学的な考え方に関する内容の定着率が低い。→校内研究を通して、アクティブ・ラーニングにシフトした授業を展開し、数学的な考え方を育成する。</p>	<p>・朝学習を通じて基礎基本の定着を図り、授業においては習熟度別に段階に合った思考力を育む課題を設定する。また、学び合いの時間を確保し、互いの考えを聞いたり自分の考えを表現したりする力を養う。</p> <p>・演算決定や面積の求め方において「なんとなく」式を立てる児童が少なくない。数直線図や今どこを求めているのかを書きこむ習慣を身に付けさせることで根拠をもって回答できる力を育てたい。</p>	
理科	<p>・実験に取り組むことが好きな児童が多く、意欲的に取り組んでいるが、実験をする根拠を正しく説明できず、表現することが苦手な児童が多く見られる。</p> <p>・科学的な思考を筋道立てて考えることが苦手、条件制御を的確にできない児童がいる。</p>	<p>・何のための実験なのかを確実に把握させ、実験の仕方などを繰り返し指導し、実験することの理由を必ず書かせるようにする。</p> <p>・予想、結果の考察などをグループや学級全体で話し合う時間もち、科学的な思考を深めていく。</p>	
音楽	<p>・呼吸や発音の仕方を工夫して、響きのある歌い方で歌うことはできているが、各声部の歌声を聴いて、声を合わせる二部合唱の能力には課題が見られる。</p> <p>・楽器の特徴を生かして旋律楽器や打楽器を演奏することはできているが、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、リズムを合わせて演奏することには課題が見られる。</p> <p>・音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくることに課題が見られる。</p> <p>・音楽を形づくっている要素のかかり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くことについて課題が見られる。</p>	<p>・様々な合唱曲のパートに親しみ、二部合唱をする機会を増やすとともに、合唱しやすい声の出し方にも気を付けるようにする。</p> <p>・旋律のリズムの特徴を感じ取る学習を多く取り入れる。また、拍に乗る活動を意図的に取り入れ、リズムを合わせて演奏できるようにする。</p> <p>・即興表現を基本としながら音を音楽に構成する学習を多く取り入れる。</p> <p>・学習指導要領の共通事項にある音楽の要素を手がかりに、楽曲の構造を理解して鑑賞する学習を多く取り入れる。</p>	
図画工作	<p>・手順に従ってつくるものは気を付けるポイントを自分で考えながら活動ができる。</p> <p>・自分が難しいと感じると簡単にあきらめる傾向がある。</p> <p>・新しいことにチャレンジする意欲がもっとほしい。</p>	<p>・技能や手順としておさえるポイントと、ここからは自分たちの発想を生かそうという場面をはっきり示す。</p> <p>・自分の表現に自信がもてるように、声掛けを細かく行う。</p>	
家庭	<p>・興味、関心は高く、生き生きと学習しているが、家庭で手伝いをよく行う児童と、そうでない児童で、技能や知識に差が出ている。</p>	<p>・授業の中で基本的な技能や知識を習得させ、それらを家庭の中で生かした取り組みができるように宿題等を工夫して取り組ませる。</p>	
体育	<p>・全般的に興味、関心が高く、積極的に活動している。しかし、ボール運動では、女子が遠慮がちになり、運動量などにも差ができてしまう。</p> <p>・体力や技能、運動経験などの差が大きい。</p>	<p>・運動が苦手な児童でも、楽しく取り組めるルールをクラスで考える。</p> <p>・運動能力に個人差が大きいため、互いの動きを見合う時間、技能を習熟する為の時間を多く設定する。</p> <p>・チームワーク、スポーツマンシップといった精神面を学習を通して学べるよう、チーム学習・トリオ学習等を積極的に取り入れる。</p>	